



渡議員

Q 予算編成について

A 施政方針のとおり重要施策を実施していく（三村町長）

一般会計の総額は73億1千152万円で、昨年度と比較し87%の増だが、増額の特種要因を除くと16%下回る。重要施策については施政方針のとおり、まちづくり協働、子育て支援の拡充、教育の一層の充実、生活基盤の整備、定住人口の拡大、町内企業の支援、筆文化の振興などを実施していく。

平成22年度国の予算は、景気上昇の政策もなく、地方行政にマイナスになりかねない。熊野町の予算編成及び重要政策について問う。

Q 広島でのオリンピックの開催について

A 機運を盛り上げる活動などでサポートしていきたい（三村町長）

昨年、検討委員会への出席要請があり、2回出席しているが、市町に対して各々何かやるという具体的な話はなく、財政負担を求めるような雰囲気でもない。また、熊野町には対応できる施設もなく、広島市での開催が決まった場合には、町民の皆さんと機運を盛り上げる活動などでサポートしていきたいと考える。

広島市からの協力要請はあったのか。もし要望があれば、熊野町ではどんな種目ができるか。財政負担はあるのか。



福垣内議員

Q 地場産業について（筆の都マイスター奨励金）

A 現時点での町独自の奨励金の交付は難しい（平町総務部長）

以前は就業の促進を図るため、就業先の事業所の申請に基づき雇用奨励金を交付していた。現在は、筆組合の後継者育成事業を含む第2次振興計画に助成を行っており、また他業種との公平性等を考えると、現時点では町独自の奨励金の交付は難しい。

筆産業の後継者育成事業で、75名の卒業生のうち、現在も42名が町内の筆事業所で活躍しておられる。将来の地場産業の存続と、卒業生の激励を兼ね、町より奨励金を出してはどうか。



福垣内議員



佛圓議員

Q 地域懇談会での地域課題について

A 総合計画策定の際に検討し反映させたい。地域懇談会は今後も実施する（三村町長）

身近な問題から町の施策に関わる課題まで、多くの意見・要望をいただいた。身近な問題については、現地確認を行うなど早期に対応したい。一方、直ちに対応することが難しい問題等については、昨年実施した住民アンケートの結果などとともに、今後総合計画を策定していく中で検討を重ね、盛り込んでいきたいと考える。懇談会は、2年に1回は実施していきたい。

昨年10月から町内14自治会で地域懇談会を開催したが、その成果と課題を、今後の町政にどのように反映させるのか。また、今後も2年に1回程度の開催を望む。

Q 無料シャトルバスについて

A ふでりん号の運行については3月末で終了する（三村町長）

2月末現在で104回運行し、延べ乗車人数は3千198名で、一日あたり約31名の方々が利用されている。運行ルートについては、1月から利用の多かった熊野営業所付近と筆の里工房間を運行している。この間、町内行事等との連携、ポスターやチラシなどで運行のお知らせをするなど、様々な取り組みを行ってきたが、今の形態のままでの事業継続は難しいため、運行については3月末で終了する。



藤本議員

ふでりん号の今後の運行予定、大幅な巡回コースの見直し、継続を前提にした取組方法について、町として今後の展望を問う。

NEW! 質問席を設置

議員席の最前列真ん中に、一般質問における「質問席」を設けた。1問目は演台で行い2問目以降に質問席を使用。傍聴席からも現在の質問者が誰であるか、明確になった。

